

天平たなばた祭り

一夜の平城宮跡を光と灯りで演出！

令和2年8月

15日(土)～23日(日)

時間 18時～21時

会場 奈良市平城宮跡

朱雀門ひろば

入場無料 荒天中止
(雨天時一部中止)

 平城宮跡歴史公園
Nara Palace Site Historical Park

※イベント内容は予告なく変更・中止する場合があります。※使用している画像はイメージです。



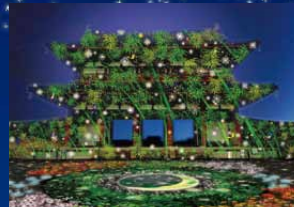
東大卒クイズ王“伊沢拓司”に挑戦!!
平城京天平祭
クイズチャレンジ

8月15日(土)～23日(日) 18:00～21:00

伊沢拓司考案のクイズに会場でチャレンジ!
参加者に景品をプレゼント(なくなり次第終了)。
全問正解者には抽選で素敵な商品が当たります!
※本人の来場はありません。

プロフィール

私立開成中学校・高等学校、東京大学経済学部卒業。中学時代より開成学園クイズ研究部に所属し開成高校時代には、全国高等学校クイズ選手権史上初の2連覇を達成。2016年に立ち上げたwebメディア『QuizKnock』で編集長を務め、登録者数140万人を超える同YouTubeチャンネルでも活動。



平城京天平祭アートプロジェクト

光の平城京絵巻

8月15日(土)～23日(日) 19:00～21:00

場所:朱雀門、朱雀大路、復原唐唐使船

「光の切り絵作家・酒井敦美」と「作曲家・サキタハヂメ」とのコラボレーションが夜の朱雀門ひろばを光と音楽で幻想的に彩ります。



光の切り絵作家・酒井 敦美 プロフィール

愛知県生まれ、在住。大学卒業後、舞台美術としての影絵(切り絵)の制作に取り組む。その中で“光”と“切り絵”とを組み合わせた表現に没頭。一枚の絵が、光の当て方で2つの表情に変化する切り絵「一画二驚(いちがにきょう)」。
動きとストーリーを加えた、絵本のような映像作品「うごく絵本」。そして、光の切り絵を砂浜や雪原やお城など、様々な空間に光の切り絵を投影する「幻灯空間」がある。



作曲家・サキタ ハヂメ プロフィール

作曲家・ミュージカルソー(のこぎり)奏者。NHK-Eテレ「シャキーン!」、日本テレビ「妖怪人間ベム」、NHK木曜時代劇「銀二貫」などドラマやCM、舞台等の音楽を多数作曲。2020年後期NHK朝の連続テレビ小説『おちょやん』の音楽担当。アメリカのミュージカルソーコンテストで2度優勝。『山を鳴らす』『奥河内音絵巻』など、既存の音楽の枠を超えた規模・発想で、音楽表現を模索し続けているアーティスト。



平城京天平祭アートプロジェクト

星空プロムナード

8月15日(土)～23日(日) 18:00～21:00

場所:天平つどい館～天平うまし館通路

床面投影デジタルアート。人の動きに合わせて星空に星座が光り、音が鳴ります。そして様々な星座が足元を美しく照らし出します。



アクセス

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無料シャトルバスの運行はありません。

公共交通機関でお越しの方

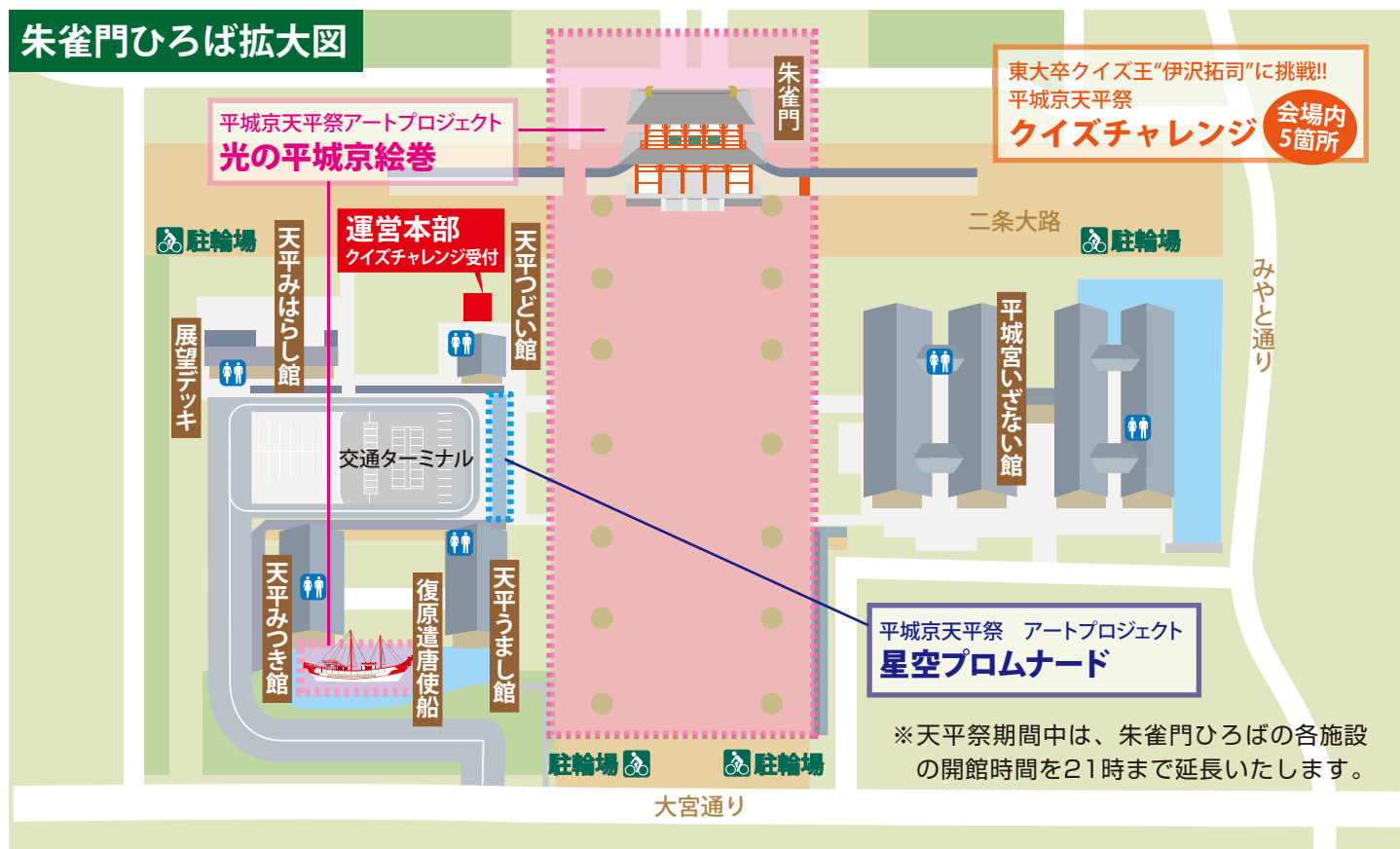
- 近鉄大和西大寺駅から徒歩20分
- JR奈良駅西口から奈良交通バス「恋の窪町」行きにて「二条大路南一丁目」下車後、徒歩10分
- JR奈良駅西口から奈良交通バス「奈良県総合医療センター」行きにて「三条大路四丁目」下車後、徒歩10分

お車でお越しの方

交通ターミナル駐車場(無料・42台)

- ※ 駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。
- ※ 近隣店舗への迷惑駐車はご遠慮ください。
- ※ 混雑時は係員の誘導に従ってください。

朱雀門ひろば拡大図



熱中症にご注意ください！

- 水分・塩分を定期的に補給しましょう。
- 屋外では日陰や風通しのよいところで定期的に休憩をとりましょう。
- 服装は速乾性・通気性のよいものにしましょう。
- 体調に異変を感じた場合には、早めに休憩したり、水分補給を行いましょう。

新型コロナウイルス感染防止へのご理解・ご協力のお願い

- 咳、くしゃみなど呼吸器症状の見られる方や、37.5度以上の発熱若しくは、平時と比較して発熱の見られる方は、ご参加をご遠慮ください。
- 参加時はマスクのご着用をお願いします。
- 手洗い及び手指消毒へのご協力をお願いします。
- 他の参加者と間隔を開けてご参加いただき、スタッフの呼びかけに従い、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。

七夕の由来

七夕行事は、日本に伝来からあった棚機津女(たなばたつめ)伝説と、遣唐使などによってもたらされた中国古来の風習や伝説とむすびつき、やがて今日のようなたなばたへと形を変えたとされています。

奈良時代にはこ平城宮でも七夕の日(旧暦の7月7日、現在の8月ごろ)に祭を行っていたと言われ、万葉集にも織姫と彦星の物語が多く詠まれています。